

現代農業と食料・環境

Agriculture, food and Environment in modern society



ナンバリングコード			
開設年度	2023	開設部局	農学部
学期	前期	学年	1年
曜日	集中	時限	集中
履修期	1期	授業形態	講義
科目区分	選択	単位数	1単位
対面／遠隔	対面および遠隔授業(対面50%以上)	授業回数	8回

■担当教員

李哉ヒョン
豊智行
大住あづさ
坂井教郎

■共同担当教員

■授業概要

農産物の生産・供給すなわち農業の展開をめぐることは、地域によって異なる賦存資源および風土・食文化、消費者の生活水準・ライフスタイルおよび品質・安全性への関与度合、食品産業や卸・小売業の動向、地球規模で進んでいる自然環境保護への取り組み、関連政策・制度などが複雑に関係している。本講義では、このような農業と食料・環境との関係性について解説し、様変わりする現代農業およびフードシステムについて学ぶ。

■学修目標

1. 食料の生産・供給・環境をめぐる現状と課題を理解する。
2. 農産物の流通と消費者の品質への関与について学ぶ。
3. 地域・消費者・環境との関係性をフードシステムとして理解する。

■授業計画

- 第1回 食料の生産・供給をめぐる現状と課題
- 第2回 農業経営における多様なビジネスモデル
- 第3回 農産物の市場と流通
- 第4回 食料の品質と安全性
- 第5回 地域のフードシステム・ガバナンス
- 第6回 フードシステムと消費者
- 第7回 鹿児島が有する農業構造の特徴と課題
- 第8回 島の暮らしと農業

■授業方法

アクティブラーニング(学習の振り返り)

■準備学修に必要な学修時間の目安

本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は15時間分(2h×7.5コマ)となるため、30時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。

■教科書

担当教員が作成した講義資料を配布する.

■参考書

小池恒男・新山陽子・秋津元輝編(2017)『現代農業と食料・環境』昭和堂

■成績評価方法・評価基準

レポート100%

■オフィスアワー

講義終了後

■連絡先(TEL)

李:099-285-8625 豊:099-285-8627 大住:099-285-8623 坂井:099-285-8620

■連絡先(MAIL)

李:lee@agri.kagoshima-u.ac.jp 豊:yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp 大住:osumi@agri.kagoshima-u.ac.jp 坂井:msakai@agri.kagoshima-u.ac.jp

■担当教員への連絡方法

■履修条件

全ての講義への出席.

授業終了後に課するレポートの提出

■実務経験のある教員による実践的授業

該当なし

■その他科目区分

■注意事項